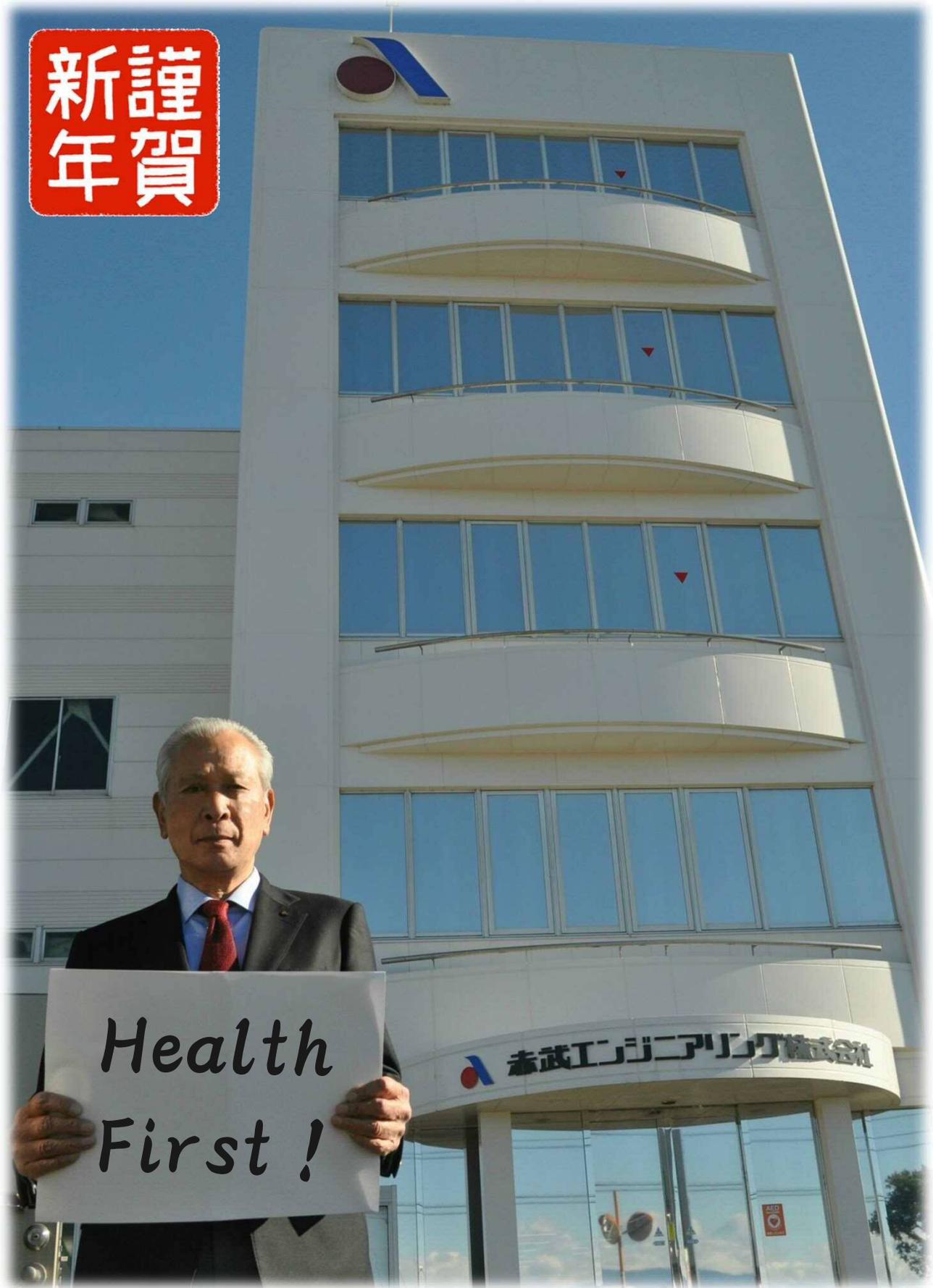


Akatake Times

Vol. 34
(通算 第187号)

謹賀
新年





◆Health First!

令和になって初めての新年です。新しき年を迎え皆さんがこの一年健康であることを祈念いたします。世界保健機構によると個人の健康条件として疾病がないこと、食欲があり便通が良いこと、元気が良く疲れにくいこと、睡眠が十分とれること、抵抗力があり病気にかかりにくいこと、姿勢が良く身体の調和がとれていること、発育が正常であることなどが挙げられています。新年にあたりもう一度自分自身の健康について見つめ直すことが大事かと思えます。

翻って、会社の健康状態はどうかといいますが、徐々にではありますが健康体に向かっていてと考えて良いでしょう。

ご承知のとおり、“企業寿命30年説”があります。起業して30年も経つと様々な個所にほころびが生じ治癒不可能となるわけです。49年間という永い期間を経過していくつかの疾患(改善点)を抱えています。ここ5~6年の健全な血液の補充によって治癒が見受けられるようになりました。ありがたいことと感謝しています。

“健全なる精神は健全なる身体に宿る”という言葉があります。社員が一丸となってベクトルを合わせ精神面でも更に健全になっていくことを願って止みません。

会社は今後も皆さんと会社の健康診断を怠ることなく予防対策をしっかりとしていく所存です。

◆50周年

いよいよ今年には会社設立50年目を迎えます。

社員の皆さんはもとよりご苦労された先輩諸氏、協力会社・仕入先、金融機関など我が社を取り巻く関係各位に感謝する次第です。

私どもは次の50年の礎を築くべく信念と勇気と情熱を持って挑戦していこうではありませんか。

なお、50周年行事の企画についてはまだ白紙状態です。ただ言えることは、我が社が50年目を迎えることができるのは周りの人々のおかげですから社会に感謝の気持ちを伝える事業をすべきだと考えています。

所詮一人(一社)では生きていけないのですから。

◆破壊的イノベーション

最近の日経新聞におもしろい記事が出ていたので紹介します。海外の経営学者が言うのです。

『戦後50年も経たないうちに日本経済はイノベーション主導型経済に変貌を遂げ米国に迫った。それは破壊的イノベーションに投資したことにある。破壊的イノベーションには2種類ある。一つは既存品が高機能すぎると感じる顧客をターゲットに低価格で使い勝手の良いモノやサービスを提供する。もう一つは、既存品が高すぎる、複雑すぎる、時間が掛りすぎるなどの理由で購入を見送った人々をターゲットにする(前者をローエンド向け、後者をハイエンド向けという)。今日、大企業と言われる多くはこの破壊的イノベーションで次々と世界初の製品を世に送り出した。だが、1980年代以降は破壊的イノベーションから持続的イノベーションにシフトした。この変化は当初こそ利益をもたらしたが、次第に成長を鈍化させた。製品やサービスが高機能化し顧客が払っていい価格を超えてしまったからだ。日本がAIなどの分野で米国や中国になかなか対抗できないでいる現状を打破するのは破壊的イノベーションに再び傾注しなければならない』

長いセンテンスなので的を得た書き写しか心もとないのですが、『日本はイノベーションのジレンマに直面している』のは間違いないことと思われま。私どもは、小企業の一つですが参考になる記事ではないでしょうか。

◆戯言を・・・

公私、特に公の場で軽々しく名前を呼び捨てにするなかれ!

“さん”や“君”を付けないで名前を呼び捨てで言う。「オーイ、OO!」と。

どういう神経がよくわからない。人格を無視した言い方。言われたら気分が良くない。

家庭の大黒柱に向かって呼び捨てはあるまい。後輩に対してでも敬う心が無いと心が貧しくなる。

時々、遭遇する場面である。気を付けましょう!

今年の子年、ネズミ算式にいいことがたくさん増えるといいですね。

佳い年になりますように。

意識を変え! やり方を変え! 業績を変えよう! ご安全に!!

代表取締役社長 赤堀 肇紀

一食のちかへく レットサムライ

～ そのサムライ、搬送チュウにつき の巻～



Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2019年10～11月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ✿ バラ
- ✿ トウガラシ
- ✿ ニューサイラン

